

令和2年度事業報告

☆事業計画は、定款第4条の7つの事業の枠組みで立案

1. 教育等看護の質の向上に関する事業
2. 看護研究学会の開催等、学術研究の振興に関する事業
3. 看護業務・看護制度の改善等に関する事業
4. 看護職を取り巻く環境の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
5. 在宅看護の推進等の取り組みを通して公衆衛生の向上を図る事業
6. 施設の貸与に関する事業
7. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

※山形県よりの事業はすべて「山形県委託」と記載した。
 ※重点事業はゴシック体で、事業担当部署には下線を記載した。
 ※事業名(項目)・目標は太字表記

1. 教育等看護の質の向上に関する事業

事業内容	事業実施報告
1) 看護職の継続教育に関する事業【重・3】 (1) 継続教育の充実・強化 ①令和2年度教育計画の実施・評価 ②令和2年度教育計画の策定・広報 ③看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）活用の推進 ④行政との連携による看護師等の資質向上 ⑤その他	教育委員会・各委員会・教育研修課・事業課・訪問看護ステーション (①～③は同じ) a 教育計画に基づいた研修運営（すでに配布済みの冊子参照） b 研修実施と評価 ア 新たな社会ニーズに対応する能力支援のための研修 ・看護実践能力を支援する研修 23コース中18コース終了（5コース中止） ・自己教育・研究能力を支援する研修 19コース中5コース終了（14コース中止） イ 診療報酬に関連した研修 7コース中4コース終了（3コース中止） ウ 看護管理者マネジメントラダーの理解のための研修 今年度実施なし エ 看護管理者・これからの看護管理を担う人々の力量形成のための研修、17コース中6コース終了（11コース中止） オ 施設内教育充実に向けた研修 6コース終了 カ 認定看護管理者育成のための研修 3コース中1コース終了（2コース中止） キ 他団体との共催研修 3コース終了 ク その他（看護管理者懇談会・新人、准看護師等の交流会） 今年度実施なし ケ 追加研修 全8コース終了 c 総会要綱内研修実施録の掲載準備 a 都道府県看護協会教育担当者会議への出席 b 教育ニーズ調査と情報収集 c 研修企画の調整 d 教育計画に関する懇談会の開催 e 教育計画の印刷・会員への発送 f ホームページ、広報誌への掲載 a 看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）のオンデマンド研修の推進 b オンデマンド研修活用による院内教育体制の整備の推進 a 山形県委託研修の実施 a キャリナースへの登録推進と受講履歴の管理 b ポートフォリオの普及推進 c 新しい生活様式に関わる会館運営（研修方法）・図書管理用・健康管理について基準を作成し、研修運営に関わる職員、委員会委員等に説明
(2) 専門看護師、認定看護師、認定看護管理者の活動支援 ①継続教育における講師として登用 ②認定看護管理者を委員や演習支援者として活用 ③専門看護師、認定看護師の委員としての活用	教育研修課 (①～③は同じ) a 県内の専門看護師 15名、認定看護師 172名 認定看護管理者 42名 a 認定看護管理者教育課程教育運営委員 4名 セカンドレベルの演習支援者 4名 職能委員会及び常任委員会 12名 職能委員会及び常任委員会 1名

<p>(3) 小規模施設で働く看護職への学習支援 ①研修の開催と参加者の情報交換の場づくり</p>	<p>教育研修課 a 研修1コース開催(再掲) b 介護・福祉・在宅領域で働く看護職への情報提供 c 認定看護師等活用事業(出前講座6回+集合研修1回)</p>
<p>(4) 委員会企画の研修のスムーズな運営 ①委員会・教育研修課・事業課との連携</p>	<p>各委員会・教育研修課・事業課 a 委員会の研修 18コースの運営</p>
<p>(5) 介護・福祉・在宅領域で働く看護職の研修充実 ①委員会、訪問看護ステーション、事務局連携による研修企画</p>	<p>看護師職能Ⅱ・在宅ケア推進委員会・訪問看護ステーション ・教育研修課・事業課 a 訪問看護ステーション管理者研修 11月13日(Web開催) 11月27日(Web開催) b 看護師職能委員会Ⅱ フットケア研修会10月10日参加者56名 c 在宅ケア推進委員会 1コース d 「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会(山形県委託事業):受講者20名修了 eラーニング受講者のみの集合研修(プログラム内容変更)として実施</p>
<p>(6) 支部と連携した研修運営 ①各地区での研修開催</p>	<p>教育研修課 a 庄内、最上、置賜地区での開催 一部Web研修での対応</p>
<p>(7) 非会員への学習支援 ①令和2年度研修の公開(非会員の受講受け入れ)</p>	<p>教育研修課 a 県内全保健・医療・福祉施設への教育計画送付 b 県内診療所への教育計画送付 c 介護福祉系の会議での研修のPR d ホームページ掲載によるPR</p>
<p>(8) 研修環境の整備・充実 ①7日以上長期研修時の開館時間の延長 ②AV機器・パソコン等の定期点検と整備 ③訪問看護会館研修室の整備と活用</p>	<p>教育研修課(①~②は同じ) a 開館時間 8時30分~18時(1時間延長) a 長期研修前のチェック、研修前の準備 b 最新機器の対応に向けての検討 c Web研修方法等についてのマニュアル作成 訪問看護ステーション a 定期チェックと研修前の点検・準備</p>
<p>2) 施設内教育充実を支援する事業【重・3】 (1) 医療機関院内教育充実への支援 ①教育担当者・責任者研修の充実 (2) 新人看護職の臨床研修体制の強化 ①新人研修の開催による支援 ②新人育成に携わる担当者研修</p>	<p>教育研修課 a 「継続教育の基準」活用ガイドラインの普及 b 日看協ラダー活用による院内教育体制の整備の推進 c 「オンデマンド」研修活用の推進 11月20日オンデマンド研修No.147開催 教育委員会・教育研修課(①~②は同じ) a 新人研修 3コース 9回開催(3コース修了者数:233名) a 実地指導者研修2コース 8/27半日研修2回 2月26日 b 研修責任者・教育担当者研修 11月20日</p>
<p>3) 認定看護管理者教育に関する事業【重・3】 (1) 認定看護管理者教育の推進 ①専任教員を中心とした認定看護管理者教育の実施・評価 ②セカンド・サード修了者の実践報告の機会提供 ③令和2年度研修企画 ④認定看護管理者教育課程教育運営委員会のスムーズな運営 ⑤日本看護協会認定部との連携 (2) 看護管理者のスキルアップを支援 ①プログラムの一部を公開 ②セカンド・サードレベル教育課程修了者実践報告会の開催</p>	<p>専任教員・教育研修課(①~③は同じ) a セカンドレベルの運営 32日間 : 受講者数 29名(教科目受講者1名含) 11月19日閉講式 1/19修了審査の結果、全受講者修了 b 演習の企画と認定看護管理者の活用による運営 c 受講者への学習支援 d 講師等との連絡調整と講義のサポート e 研修運営の評価 a 認定看護管理者教育課程教育運営委員会企画・運営による看護管理実践報告会の開催 中止 認定看護管理者教育課程教育運営委員会 a 適正な受講者選考と受講者の修了審査 b 研修の企画・運営の支援 教育研修課 a 次年度認定看護管理者教育機関申請システム入力 b 積極的な情報収集と専任教員の連携 専任教員・教育研修課(①~②は同じ) 中止</p>

<p>4) 医療安全教育に関する事業</p> <p>(1) 医療安全管理者養成研修の開催</p> <p>①医療安全管理者養成研修の実施・評価</p> <p>②令和2年度研修企画</p>	<p>教育研修課 (①～②は同じ)</p> <p>a 研修の運営 eラーニング+集合研修 参加者66名</p> <p>b 受講者の学習支援</p> <p>c 研修運営の評価</p>
<p>(2) 医療安全管理者のスキルアップの支援</p> <p>①医療安全管理者養成研修のプログラムの一部を公開</p>	<p>医療・看護安全対策委員会・教育研修課 中止</p>
<p>(3) 医療安全推進活動</p> <p>①医療・看護安全対策委員会の活動の強化</p> <p>②日本看護協会との連携</p> <p>③関連団体との連携促進</p>	<p>医療・看護安全対策委員会・教育研修課</p> <p>a 医療安全スキルアップ研修の企画・運営</p> <p>b 事故防止・再発防止の啓発活動</p> <p>c 「医療安全やまがたフォーラム」の運営協力 10月3日山形ビッグウイング</p> <p>a 関連会議への参加</p>
<p>5) 図書室運営に関する事業</p> <p>(1) 図書・文献サービスの充実</p> <p>①図書室の充実</p> <p>②文献検索機能の向上</p>	<p>教育研修課 (①～②は同じ)</p> <p>a 図書・DVDの購入、広報、貸出し</p> <p>b 蔵書点検：不明図書・古書、DVD等の整理と処理</p> <p>a パソコンによる文献検索の普及 長期研修での文献検索法の活用ガイドを研修室に設置</p> <p>b 蔵書原簿の更新 (長期研修前・蔵書点検時)</p> <p>c 都道府県看護協会図書担当者研修への参加 1月29日Web研修</p>

2. 看護研究学会の開催等、学術研究の振興に関する事業

事業内容	事業実施報告
<p>1) 山形県看護研究学会に関する事業【重・3】</p> <p>(1) 山形県看護研究学会の開催</p> <p>①学会の企画と運営</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">第51回在宅看護学会学術集会開催につき休会</p>
<p>(2) 看護研究の推進</p> <p>①学会委員のスキルアップ</p> <p>②日本看護協会との連携</p>	<p>学会委員会、教育研修課 (①～②は同じ)</p> <p>a 2020年度「在宅看護学会」Web開催 (11月1日～30日) への協力</p>

3. 看護業務・看護制度の改善等に関する事業

事業内容	事業実施報告
<p>1) 看護業務に関する事業【重・4】</p> <p>(1) 職能委員会活動の活性化</p> <p>①日本看護協会職能委員会との連携</p> <p>②保健師職能委員会活動</p> <p>③助産師職能委員会活動</p>	<p>職能理事 (職能委員長)</p> <p>a 日本看護協会通常総会への出席 6月11日Web参加</p> <p>b 全国職能委員長会議への出席 第1回：中止 (資料Web配信) 第2回：3月10日 (Web) 看Ⅰ・看Ⅱ委員長出席 3月11日 (Web) 保・助委員長出席</p> <p>c 地区別職能委員長会議への出席 (福島県) 10月9日：各職能委員長Web参加 (保健師は代理出席)</p> <p>d 調査活動への協力 各職能委員会への調査依頼に協力</p> <p>e 日本看護協会職能委員会の事業推進のための情報発信と山形県看護協会職能委員会での取り組み</p> <p>保健師職能委員会</p> <p>a 保健師の力量形成のための現任教育の強化 10月3日 災害とコロナ感染症への対応研修 参加者 82名</p> <p>b 保健師の力量形成のための現任教育の充実 2月8日 母子のための地域包括ケアシステム推進会議 担当理事、委員長2名出席</p> <p>c 地域包括ケアシステムにおける保健師の役割発揮 bに同じ</p> <p>d 災害に備えた保健師の機能と活動の強化 aに同じ</p> <p>e 助産師職能との連携推進 中止</p> <p>助産師職能委員会</p> <p>a 助産実践能力習熟段階 (クリニカルラダー) の普及・推進 (申請更新に向けた情報発信、研修企画) 10月10日 ウイメンズヘルスケア研修 参加者51名</p> <p>b CLoCMiP® (助産実践能力習熟段階) レベルⅢ認証制度の更新・申請の支援</p> <p>c 助産師活用推進事業の推進 (山形県委託)</p>

<p>④看護師職能委員会Ⅰ活動</p> <p>⑤看護師職能委員会Ⅱ活動</p> <p>⑥地域包括ケアシステム構築推進に向けた研修会</p> <p>⑦三職能4委員会に関する情報の発信</p>	<p>d 院内助産・助産師外来・産後ケア事業の推進とアドバンス助産師の自律的活動推進 3月2日 看護管理者との懇談会および研修会 Web開催</p> <p>e 保健師職能との連携強化 6月19日 保健師との合同研修会 中止</p> <p>f 県内助産師のネットワーク作りと連携強化 3月2日 看護管理者と参加看護管理者・助産師等の交流会 Web開催</p> <p><u>看護師職能委員会Ⅰ</u> a 看護師職能を取り巻く現状と課題の明確化と対策の検討 67病院看護管理者対象「身体拘束・抑制の現状」に関する調査実施</p> <p>b 病院看護師の在宅療養支援力と地域につなげる看護の強化 10月2日「看取りケアのプロセスと心を癒す声かけ・聴く力」研修会 参加者171名</p> <p>c 勤務環境改善の推進</p> <p><u>看護師職能委員会Ⅱ</u> a 高齢者の日常生活援助に関わる看護職としての質の向上 10月10日 フットケア研修会 参加者56名</p> <p>b 地域包括ケアの推進における多職種連携の強化</p> <p>c 地域での看護力強化（看看連携） 看護師職能Ⅰと在宅ケア推進委員会との話し合い中止</p> <p>a 通常総会後の研修会開催 6月19日 合同研修会中止 ・保健師・助産師合同研修会 ・看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修会</p> <p><u>三職能4委員会</u> a 職能に関する情報収集と情報発信 ・広報誌への「職能だより」の掲載の実施</p> <p>b 山形県健康福祉部との業務推進懇談会への課題提起 9月7日 各職能委員長出席</p> <p>c 職能委員会間の情報交換</p>
<p>2) 看護制度に関する事業 【重・3】</p> <p>(1) 准看護師への進学支援及び学習支援</p> <p>①奨学金制度の活用</p> <p>②准看護師への学習支援</p> <p>③准看護師からの進学相談対応</p> <p>(2) 看護職を目指す中・高校生、社会人への対応</p> <p>①看護職への道をPRする</p> <p>(3) 日本看護協会との連携</p> <p>①全国准看護師問題担当役員会議への出席</p> <p>②日本看護協会通常総会への出席</p> <p>(4) 看護職の教育制度見直しに関する情報発信</p> <p>①日本看護協会との連携</p> <p>(5) 特定行為の研修制度法制化の周知</p> <p>①日本看護協会との連携</p>	<p><u>教育研修課、事業課・ナースセンター（①～③は同じ）</u></p> <p>a 広報誌やホームページ等での公募</p> <p>b 山形県看護協会の奨学金授与者の選考・公表 応募者なし</p> <p>c 日本看護協会の奨学金の活用推進</p> <p>a 小規模施設で働く看護職や介護・福祉系施設で働く看護職を対象とした研修の開催</p> <p>b 認定看護師活用研修の周知と研修運営の検討</p> <p>a 随時対応</p> <p><u>教育研修課、事業課、ナースセンター</u></p> <p>a イベント時の進学相談 ナースセンターにおける進学相談 8件</p> <p>b ハローワークにおける進学相談 7件</p> <p>c 中学校・高等学校での出前講座 2講座（2校）実施 参加者65名</p> <p>d ナースセンターにおける進路相談</p> <p><u>全区理事、常任理事（①～②は同じ）</u></p> <p>a 制度改革に伴う情報収集と理事会及び准看護師への情報発信 12月10日 菅原全区理事出席（Web）</p> <p>a 制度に関する日本看護協会の動向を知り、准看護師への情報発信</p> <p><u>会長、常任理事</u></p> <p>a 日本看護協会からの情報を受け、会員へ情報発信</p> <p>b 必要時、行政へ提言</p> <p><u>会長、常任理事</u></p> <p>a 支部研修での会長講話で取り上げる</p> <p>b 看護管理者対象に特定行為研修修了者活用の研修開催</p> <p>c 広報誌等での広報</p>

4. 看護職を取り巻く環境の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業

事業内容	事業実施報告
<p>1) 看護職を取り巻く環境改善に関する事業【重・2】</p> <p>(1) 看護職の離職防止及び看護職確保定着事業の推進</p> <p>①令和1年度看護職就業状況調査</p> <p>②潜在看護師等復職研修</p> <p>③働き続けられる職場づくりの推進</p> <p>④医療職のWLB推進ワークショップ参加施設への支援</p> <p>⑤看護師等職場説明会・看護学校等進学説明会開催</p> <p>⑥日本看護協会、関係団体、行政との連携強化</p>	<p>事業課、ナースセンター (①～②は同じ)</p> <p>a 6月に調査を実施 ・就業状況と労働環境</p> <p>b 調査結果を会議で公表</p> <p>c 調査結果をHPで公表</p> <p>d データの活用</p> <p>a 研修のPRと受講者拡大 病院等施設実地研修開催 受け入れ病院(篠田総合病院・山形ロイヤル病院・県立中央病院・本間病院) 受講者5名 (うち就業者数3名)</p> <p>b 受入れ施設の確保・拡大</p> <p>c eラーニングを活用した未就業者に対する研修開催 受講者29名 (うち就業者数16名)</p> <p>d 新型コロナウイルス感染症に携わる看護職のための研修会の実施 3月24日(水)参加者10名</p> <p>e LINE@活用したナースセンター登録者、ハローワーク相談者への情報提供 登録247名 投稿20件</p> <p>f 研修・セミナー運営の評価</p> <p>勤務環境改善推進委員会、看護師職能委員会I、事業課、ナースセンター (③～④は同じ)</p> <p>a 勤務環境改善推進委員会の活動推進</p> <p>b 勤務環境改善(ワークショップ)の継続 ・医療機関への働きかけ ・介護・福祉・在宅領域の施設・事業所への働きかけ</p> <p>c 夜勤・交代制勤務に関するガイドラインの活用推進</p> <p>d 看護職のキャリアと連動した賃金モデルの周知</p> <p>e 短時間正職員制度や多様な勤務形態導入の推進</p> <p>f 県内病院離職者実態調査の実施と結果の活用(4月実施)</p> <p>g 山形県医療勤務環境改善支援センターとの連携</p> <p>a 参加施設(2年目)への支援 ・勤務環境改善推進委員会による支援活動 10月3日 医療職のWLB推進ワークショップ 参加2病院 参加者15名 2月27日 医療職のWLB推進フォローアップワークショップ(Web開催) 参加2病院 参加者15名 一般参加者65名</p> <p>b 山形県勤務環境改善支援センターとの連携</p> <p>c 行政・労働局との連携</p> <p>事業課、ナースセンター (⑤～⑥に同じ)</p> <p>a 12月27日(日)山形テルサで開催 中止 参加希望者へ希望病院、希望看護学校等のパンフレットを配布 掲載希望病院・看護学校等のPR動画配信</p> <p>b マスメディアを活用しての広報活動 (Google Web 広告)</p> <p>看護師職能委員会I、教育研修課、事業課、ナースセンター</p> <p>a 看護労働担当者会議への出席 11月25日Web会議出席</p> <p>b 「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」への参画</p> <p>c 県の修学資金の利用促進</p> <p>d 「もがみ看護師確保推進ネットワーク協議会」への参画 11月2日合同Web会議出席</p> <p>e 日本看護協会オンデマンド配信研修活用の推進</p> <p>f 日本看護協会の労働と看護の質向上のためのデータベース事業 D i N Q Lの活用推進</p> <p>g 山形県健康福祉部との業務推進懇談会へ課題提起 9月7日 地域に必要な看護職確保の推進事業について説明</p>
<p>(2) ナースセンター事業運営の強化</p> <p>①ナースセンター事業の充実</p>	<p>事業課、ナースセンター (①～②は同じ)</p> <p>a 求職・求人相談の充実</p> <p>b 離職者のナースセンター届出制度の周知と代行登録の推進 ・届出登録者への情報提供と復職支援の充実 (LINE@活用) 届出総数1,241名 うち新規届出登録者数243名</p> <p>c 相談件数、再就業率のアップ ・事業の成果の可視化とデータの活用 求職登録者699名(-41名) 求人登録者数2,146名(-59名) 再就職者数313名(-61名) 再就職率44.8%(-4.8%) 就業相談件数10,837件(-123件)</p> <p>d 「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」の目標達成</p>

<p>②看護職員就業支援事業</p>	<p>a 施設訪問による求人登録の増加対策(地域相談員の活用) ・地域相談員による求人施設訪問 11月より実施再開 (12件訪問)</p> <p>b NCCSシステムの周知と普及活動</p> <p>c ハローワークとの連携継続の強化 連携同意求職者38名 ・連絡調整会議の開催 9月14日</p> <p>d 相談件数、再就業率のアップ ・事業の成果の可視化とデータの活用 ・就業状況フォローアップ調査 2019年10月以降に就職し6ヶ月経過した常勤(正規以外)、非常勤の採用者対象(対象者41名、回答36名、回答率88%うち就業中31名(86%)、離職者5名(14%うち雇用満了1名)</p> <p>e 県内各地域でUターンによる就業相談実施 UIターン全体数39名 ・山形県出身者の多い隣県看護学校への訪問 内就業中28名(84%)、オンライン面談は秋田県1校、宮城県3校 ・11月29日「やまがた暮らし大相談会」へのオンライン参加 面談者 0名 ・就業相談の多いハローワークでの周知と広報</p> <p>f 離職者の実態調査とデータの活用 2021年3月に退職の看護職員に対して実態調査実施</p>
<p>③看護業務啓発促進事業</p>	<p>いのちの教育推進委員会、4支部、訪問看護ステーション、事務局</p> <p>a 「ふれあい看護体験」の実施(5/12~5/26)(7/28~8/7) 中止 申し込みがあった学生に対し、資料を送付</p> <p>b 「看護への道」進路相談の開催 「看護への道セミナー」高校生対象Webセミナー4回開催 2月6日 2月13日 2月20日 2月27日 高校13校、82名参加</p> <p>c 「看護の出勤授業」の実施(通年で実施) 7月受付開始 8月より実施 36講座(30校)、受講者3,343名 いのちの教育:34講座(28校)受講者3,278名 看護の仕事:2講座(2校)受講者65名</p> <p>d 「看護の日」「夏まつり」のイベント 5月16日(土)「健康まつり」の開催 8月29日に延期するが中止 8月14日(金)「夏まつり」中止</p>
<p>④潜在看護師掘り起こし事業</p>	<p>事業課、ナースセンター(④~⑦は同じ)</p> <p>a マスコミ等のメディアを活用したナースセンター登録に関する情報発信(ホームページ更新、LINE@による情報発信) ・LINE@登録者数247名 投稿20件 ・村山地域のタウン誌に山形県ナースセンターのPR掲載 ・山形県ナースセンターイメージキャラクター入りオリジナルバッグ作成配布 ・県内就職ガイドブック2020を各関係機関約360ヶ所に送付 ホームページ更新 ・県内就職ガイドブック2021の作成</p> <p>b ナースセンター登録者への情報発信と復職相談への対応</p>
<p>⑤ナースセンター利用促進事業</p>	<p>a 県内8ヶ所のハローワークでの看護の仕事相談会の開催 新型コロナウイルス感染拡大のため4~5月中止 6月以降開催 ハローワーク相談者180名</p> <p>b 「マザーズジョブサポート山形」、「マザーズジョブサポート庄内」での就業相談会の開催 相談者28名</p> <p>c 地域相談員によるハローワークでの相談強化</p> <p>d ハローワークやまがたとの連携強化</p> <p>e 施設訪問によるナースセンター事業の周知活動と利用促進 施設訪問12回 訪問施設数12 ナースセンターのリーフレット配布 県内10医師会:約787部 県内35市町村:6種各5部</p>
<p>⑥ナースセンターの運営に関すること</p>	<p>a ナースセンター運営会議の開催 2回開催:11月5日(金) 令和3年3月4日(木)</p> <p>b 事業報告書の作成 300部作成</p> <p>c ナースセンターだよりの発行 3回</p>
<p>⑦行政、関係機関との連携強化</p>	<p>a 山形県健康福祉部地域医療対策課との連携 「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」の目標達成 令和2年度からの取り組みの検討</p> <p>b 「医療勤務環境改善支援センター」との連携</p> <p>c 山形労働局との協力体制の構築 ・連携によるハローワークでの「看護相談会」の利用者拡大、就業支援の強化 11月9日やまがた「福祉のしごとフェア2020」参加 10月14日「福祉のしごとフェアin新庄」参加 12月3日福祉のしごと就職面談会(酒田会場)中止、(鶴岡会場)中止 2月12日「ハローワーク米沢就職面談会」参加 ・「医療労務管理相談コーナー」活用の周知 ・「WECやまがた」への参加 担当者会議参加 3回</p>

<p>(3) 看護職の健康増進 ①看護職のメンタルサポート</p>	<p>ナースセンター a 相談窓口の周知・広報 b 実績評価 相談手段：来所7件、電話22件、メール6件 相談者8名（うち1名就業、新規登録者3名） c 相談員のスキルアップ ・12月8日日看協北海道・東北ブロック「社労士への職業紹介事業に関するオンライン相談会」4名参加 ・1～2月 ナースセンター相談員向けキャリアコンサルティング研修 5名参加</p>
<p>(4) 「看護職賠償責任保険制度」の普及 ①会員への「看護職賠償責任保険制度」の周知</p>	<p>総務課 a 加入の促進</p>
<p>2) 県民の健康・福祉の増進に関する事業【重・6】 (1) 県民の健康づくり支援 ①県民への相談事業「まちの保健室」の開催 ②看護に関するイベント事業 ③医療安全フォーラム ④次世代育成支援事業 ⑤電話相談事業 ⑥県民及び看護職の禁煙推進活動【重・2】</p>	<p>「まちの保健室」推進委員会、支部、事業課、 協会訪問看護ステーション a 「まちの保健室」推進委員会活動の推進 b 支部、常任委員会「まちの保健室」推進委員会との連携・合同委員会の開催（2回） 中止 c 「まちの保健室」開催要綱、運営マニュアルの見直し d ボランティア運用要綱の周知と登録者拡大 e ボランティア育成研修の開催 中止 f 支部の「まちの保健室」の常設化の検討 今年度は支部「まちの保健室」開催中止 地域住民を対象とした常設型「まちの保健室」の開催 中止 g 子どもと子育て世代を対象とした「まちの保健室」開催 中止 山形支部による常設型「まちの保健室」開催 中止 h 他の団体、事業所からの依頼の「まちの保健室」開催への対応 山形新聞・山形放送8大事業県民健康講座での「まちの保健室」開催 10月15日長井市、11月5日酒田市：それぞれ参加者約20名、山形市中止 i 関連団体との共催 「まちの保健室」連絡協議会の開催 書面開催 事務局・支部・協会訪問看護ステーション a 「看護の日」健康まつり（再掲） 中止 b 「夏まつり」（再掲） 中止 医療・看護安全対策委員会・教育研修課 a 「医療安全やまがたフォーラム」への参画 10月3日（土）事業課 a やまがた子育て応援サイトメール相談業務（山形県委託） 相談件数：76件（5月3日～5月6日の4件含む） いのちの教育推進委員会・事業課 b いのちの教育・性の健康教育講師派遣 34講座（28校）実施、受講者3,278名 c いのちの教育・性の健康教育実践者の育成 ・いのちの教育・性の健康に関する研修の開催 中止 ・いのちの教育・性の健康教育実施の手引きの活用 d 性の健康支援ネットワーク会員登録者の増員（新規登録者1名） 会長・常任理事 a 健康相談 b 自殺対策 c 青少年関係 禁煙推進委員・支部 a 山形県四師会と共催による禁煙活動事業の開催 b 関係機関との連携 c 受動喫煙防止宣言の普及</p>
<p>(2) 災害支援体制の整備 ①山形県看護協会災害支援体制の整備・周知 ②災害支援ナース育成の強化</p>	<p>災害看護対策委員会・事務局（①～⑤は同じ） a 災害支援活動要綱・災害支援ナース必携マニュアルの見直し・検討 b 災害支援体制の周知 c 災害支援物資の備蓄と管理 a 災害看護対策委員のスキルアップ b 支援ナースのスキルアップ研修の開催（2回） 10月7日（水）災害看護実務編 受講者11名 11月10日（木）災害支援ナースフォローアップ研修 受講者19名 ：昨年度の丸森町での派遣活動の報告 c 支援ナース連絡体制の模擬訓練の実施 12月8日～10日：10名派遣、4名派遣ならず d 山形県・市町村合同総合防災訓練（南陽市）への参加（9月6日）中止</p>

<p>③看護職の災害看護の意識高揚</p> <p>④県民に対する防災意識の啓発</p> <p>⑤災害看護支援体制のネットワークづくり</p>	<p>a 看護管理者対象の災害対策研修の開催（1日間） 中止</p> <p>b 災害看護の基礎知識の普及 ・DVD研修</p> <p>c 支援ナース登録者の拡大 新規登録者5名、合計93名</p> <p>d 災害看護の研修会で災害支援活動や支援ナースPR展示</p> <p>a 「健康まつり」での災害時の対応のパンフレットを展示 中止</p> <p>a 日本看護協会との連携 ・災害看護対策担当者会議への出席（11月11日） Web開催 昨年度の丸森町への災害支援ナース派遣活動について書面報告 ・災害支援ナース合同派遣訓練への参加 12月8日～10日：10名派遣、4名派遣ならず</p> <p>b 県内医療関係団体連携による支援活動の検討</p> <p>c 行政等との連携 ・関連会議・研修会への出席</p>
<p>(3) 東日本大震災支援活動</p> <p>①被災看護職への支援</p> <p>②県内避難者の子育て支援</p> <p>③県内避難者の心のケア事業 （福島県委託事業）</p> <p>④県内避難者支援ネットワーク関連</p>	<p>事務局（①～④は同じ）</p> <p>a 研修受講の受け入れ</p> <p>b 避難地域の就業支援</p> <p>c 県内避難の看護職の入会負担金免除</p> <p>a 山形市、米沢市における「まちの保健室」の開催（月1回） 山形市8月より開催し6回実施、米沢市中止</p> <p>b 各市町村の避難者支援担当者と連携し、戸別訪問につなげる 鶴岡市8回（20世帯）実施</p> <p>c 支援者のスキルアップ、研修会の開催 中止</p> <p>d 支援者へのメールマガジンなどの避難情報の定期発信</p> <p>a 県内避難者支援ネットワーク会議とイベントへの参加 「今後の暮らし応援のつどい」「まちの保健室」支援者、職員参加 11月7日（土）山形会場、11月8日（日）米沢会場 合計：12組17名参加</p> <p>b 避難者支援相談員連絡協議会への出席 Web会議 8月25日、9月15日Web開催参加</p> <p>c 行政、関係団体との連携 12月25日Web会議参加</p>
<p>(4) 新興感染症等のパンデミックへの対応体制の整備</p> <p>①コロナウイルスに関する妊産婦等相談業務</p> <p>②新型コロナウイルス感染症拡大に係る実態調査</p> <p>③新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養施設健康管理・相談等事業へ看護職派遣事業</p> <p>④地域の医療提供体制確保の為の看護職員の派遣調整事業</p>	<p>事業課</p> <p>a コロナウイルスに関する妊産婦等臨時メール相談業務（山形県委託）（再掲） 5月3日～5月6日、相談件数：4件</p> <p>a 県内67病院、35市町村、71訪問看護ステーションへ実態調査実施 常任理事</p> <p>a 宿泊療養施設へ看護師派遣事業の運営（山形県委託） ・健康福祉部医療政策課と事業運営について協議 5月11日開設2ヶ所：村山地域（天童） 庄内地域（酒田）</p> <p>b 療養応援ナースの対応 ・ナースセンターを通し療養応援ナースの採用 ・勤務シフト作成開始 5月11日より勤務者1名 日勤 12月14日より勤務者2名体制へ増員 日勤 ・教育および研修：入職時オリエンテーション、現地研修実施 1月27日、3月17日 感染症対策研修会 Web参加 ・療養応援ナースの派遣の実績 11月16日～11月20日 12月12日～12月26日 1月30日～2月8日 3月19日～3月31日 稼働日数43日間 入所者総数107名 療養応援ナース延べ89名</p> <p>a 感染症対策応援派遣ナース事業（山形県・山形県協会・日看協） ・健康福祉部医療政策課と事業運営について協議 ・支援に関するニーズ調査と派遣依頼の登録の整備 ・感染症対策応援派遣ナースの派遣調整</p>

5. 在宅看護の推進等の取り組みを通して公衆衛生の向上を図る事業

事業内容	事業実施報告
<p>1) 協会訪問看護ステーション・居宅介護支援事業【重・1】</p> <p>(1) 協会訪問看護ステーション事業の健全経営</p> <p>①協会訪問看護ステーションの経営基盤の強化</p> <p>②4つの協会訪問看護ステーションの運営の組織づくり</p> <p>③業務の効率化と看護の質向上の推進</p>	<p>協会訪問看護ステーション、在宅推進担当、管理運営会議</p> <p>a 協会訪問看護ステーション運営会議の定期開催（月1回）Web参加</p> <p>b 経営的視点に立った訪問看護ステーションの運営 ・業務、実績の見える化と評価(管理者・職員) ・地域住民への訪問看護実践のPR</p> <p>c 円滑な運営のための管理者のマネジメント力の向上 ・訪問看護ステーション管理者研修の受講 2回受講 ・所長会議での経営に関する情報交換 アドバイス事業の実施（4回）</p> <p>d 公益事業の強化と地域密着事業の展開 ・地域のニーズに合わせた活動の充実 ・多職種連携の推進 ・訪問看護ステーション新庄のサテライトまむろ川安定的経営 ・「看取り研修」への講師派遣 ・「訪問看護相談窓口」の設置（山形県委託）相談件数 283件</p> <p>e 機能強化型訪問看護ステーション（ⅠⅡ）の役割発揮 ・訪問看護ステーションやまがた・むらやまの強化 ・訪問看護ステーション機能強化型Ⅲに向けた取り組み（まいつる）</p> <p>f 計画的な人材育成の仕組みづくり ・看護ラダー（訪問看護編）整備活用</p> <p>g 理事会への事業運営の報告</p> <p>協会訪問看護ステーション、在宅推進担当（②～③は同じ）</p> <p>a 所長会議の開催（月1回）</p> <p>b 各種委員会活動の活性化 各委員会の開催はWeb開催</p> <p>c 諸規程や行動規範の周知徹底</p> <p>d 目標管理の定着化 所長による年2回の面接で確認</p> <p>e 職場の雰囲気づくり 5S運動の展開</p> <p>f 人事交流</p> <p>a 研修の企画と充実</p> <p>b 訪問看護eラーニング受講 OJTシートの活用 新規採用者3名受講</p> <p>c 安全管理の強化（医療安全の研修会8日間受講） 1名受講</p>
<p>(2) 協会居宅介護支援事業の充実（3か所）（事務職員の専任化）</p> <p>①安定した事業経営、基盤の強化</p> <p>②質の高いケアマネジメントの提供</p> <p>③関係機関、関係職種との連携強化</p>	<p>協会居宅支援事業所、在宅推進担当（①～③は同じ）</p> <p>a 居宅介護支援事業所連絡会議の開催 2回開催 情報交換 課題の検討</p> <p>b 経営的視点に立った居宅介護支援事業所の運営 ・居宅介護支援特定事業所Ⅲとしての役割発揮 ・現状分析による課題検討 ・令和2年度特定事業所Ⅳ目指しての検討</p> <p>c 市の認定調査委託契約の継続</p> <p>a 積極的なスキルアップ</p> <p>b 事業所間での事例検討会、勉強会の開催</p> <p>c 他の事業所との情報交換</p> <p>a 関係機関との会議、研修会への積極的参加</p> <p>b 山形県介護専門員協会との連携</p> <p>c 認知症カフェの支援</p> <p>d ポピーネットやまがたへ参画しMCS活用した多職種連携強化</p>
<p>(3) 県内の訪問看護の拠点としての「訪問看護会館」の積極的な活用</p> <p>①山形県訪問看護ステーション連絡協議会との連携</p> <p>②「訪問看護会館」の貸出による地域貢献の拡大</p>	<p>管理運営会議、在宅推進担当、協会訪問看護ステーション（①～②は同じ）</p> <p>a 山形県訪問看護ステーション連絡協議会 連絡を担当</p> <p>b 事務局業務のサポート</p> <p>c 県民への訪問看護のPR</p> <p>a 「訪問看護会館」の積極的活用による県内の訪問看護師の資質向上やネットワーク構築の機会の拡大</p>

<p>2) 在宅ケア等に関する事業【重・1】</p> <p>(1) 地域包括ケアシステムの推進</p> <p>①地域包括ケアにおける看護職の役割・機能の周知・普及</p>	<p>在宅ケア推進委員会、保健師職能委員会、助産師職能委員会、看護師職能委員会Ⅰ、看護師職能委員会Ⅱ、4支部、事業課</p> <p>a 地域包括ケアシステム構築推進の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の開催 ・退院支援・地域連携の推進 ・県内病院看護管理者懇談会の開催 中止 <p>b 保健師、助産師、看護師職能Ⅰ、看護師職能Ⅱ、在宅ケア推進委員会の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムにおける看護の役割 地域につなぐ看護研修 ・地域と施設の看護職のネットワーク構築 <p>c 支部活動の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同委員会時の支部長会への副支部長の出席 合同委員会中止 ・支部長の地域の在宅医療推進協議会（地域医療構想調整会議）への出席と発言（オブザーバーとの連携）多くの地域は書面会議 ・地域の会議内容の共有と意見交換 <p>d 地域における看護管理者のネットワーク構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域の看護力強化支援事業」の実施（6か所実施） ・地域単位での多職種連携の強化 <p>e 母子のための安心安全な地域ケアの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児等の体制整備等の会議出席 在宅・教育部会に出席 ・医療的ケア児等の研修会の開催 <p>1月16日Web開催 参加者92名</p>
<p>(2) 訪問看護サービスの普及と質の向上</p> <p>①訪問看護の普及活動</p> <p>②訪問看護サービスの質の向上</p> <p>③山形県訪問看護ステーション連絡協議会との連携強化</p> <p>④訪問看護サービス事業所支援事業（山形県委託）</p> <p>⑤訪問看護担い手創出事業の展開（短期体験型研修実施支援）</p> <p>⑥日看協委託事業 訪問看護総合支援センター試行事業</p>	<p>在宅ケア推進委員会、協会訪問看護ステーション、在宅推進担当</p> <p>a 県民に向けたPR活動</p> <p>b 訪問看護普及のための連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット活用によるPR ケアマネージャーとの連携 <p>c 看護学生に向けたPR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場説明会 ・看護学校訪問 <p>d 他の職種へのPRと連携</p> <p>e 山形県内の関連会議への出席</p> <p>f 山形県訪問看護ステーション連絡協議会との連携</p> <p>訪問看護ステーション、事業課</p> <p>a 訪問看護師養成講習会の開催（県委託）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・eラーニング活用の研修 ・集合研修としてのみ開催（プログラム変更）修了20名 <p>在宅ケア推進委員会、看護師職能委員会Ⅱ、訪問看護ステーション、在宅推進担当、教育研修課</p> <p>b 研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション管理者研修 11月13日 48名参加 11月27日 50名参加 <p>d 訪問看護師への教育計画の周知と研修受講の推進</p> <p>e 蔵王会在宅医療・看護教育センター事業への協力</p> <p>f 訪問看護サミットへの参加 Webで参加</p> <p>g 行政との連携</p> <p>訪問看護ステーション、在宅推進担当、事務局</p> <p>a 訪問会館に事務局の設置とサポート</p> <p>b 総会・研修開催等への協力</p> <p>c 地区ブロック内ネットワークの推進（ブロック会議）4地域で実施</p> <p>d 地区ブロック内ネットワークの推進（技術研修会開催）4地域で実施</p> <p>協会訪問看護ステーション、在宅推進担当、事務局</p> <p>a 訪問看護総合相談窓口</p> <p>電話：248件 面接：19件 メール：16件 合計283件</p> <p>b 管理者研修と経営安定化対策 10月31日 36名参加</p> <p>c 各地域の訪問看護ステーションの連携強化 ブロック会議</p> <p>技術研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ブロック会議コロナの情報交換：55名参加 エコーの学習会：58名参加 <p>d 小児医療・フィジカルアセスメント等の技術向上研修会の開催</p> <p>e 専門看護師 認定看護師派遣研修事業 8か所参加</p> <p>f 訪問看護普及啓発事業</p> <p>a 入門コース（1日体験研修） 13名</p> <p>b 実践コース（2日～5日間体験研修） 9名 33日</p> <p>c 担い手事業成果発表 2回 書面で発表1回</p> <p>d 行政との連携 事業の進捗や計画等について協議している</p> <p>3つの目的 経営支援 人材確保 質の向上に向けて実業を展開</p> <p>a 訪問看護推進協議会の開催</p> <p>b ICT導入による業務の効率化に向けた取り組み</p> <p>c 潜在看護師、プラチナナース等の就業支援</p> <p>d 訪問看護担い手創出等事業（3年間のまとめ）</p>

6. 施設の貸与に関する事業

事業内容	事業実施報告
1) 施設運営に関する事業 (1) 施設の賃貸運営 ①会館、研修センターの賃貸契約及び貸出 ②駐車場の貸出 ③「訪問看護会館」の貸出	総務課 (①～②は同じ) a 事務所としての賃貸契約先 ・日本精神科看護協会山形県支部 b 研修室の外部貸出 1事業所 1回 c 自動販売機設置2・3階 a 看護協会駐車場の貸出 訪問看護ステーションやまがた、在宅推進担当、総務課 a 研修室、会議室の積極的な貸出

7. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

事業内容	事業実施報告
1) 組織に関する事業【重・5】 (1) 協会組織の強化 ①公益社団法人の円滑な運営 ②協会事業組織の検討 ③会員拡大対策の強化 ④支部活動の活性化	理事会・管理運営会議・事務局 (①～②は同じ) a 定款の遵守 a 委員会の見直し ・常任委員会「『まちの保健室』推進委員会」の見直し b 各種パンフレットの見直し・作成と活用 c 事務局の役割強化 会員拡大推進委員会、理事会・管理運営会議・事務局 a 会員拡大推進委員会の活動推進 b 「会員情報管理体制」のスムーズな手続きへの誘導 c 協会事業のPRによる会員拡大 d 各職能委員会による会員拡大の呼びかけ e 施設訪問による会員拡大の呼びかけ 理事会・管理運営会議・事務局 a 支部運営の強化 ・支部担当執行理事のサポート体制構築 ・支部規則、本協会との確認事項の周知と徹底 ・支部活動の効率化 ・地域密着の活動推進 b 支部長・副支部長会議の開催 2回開催：6月19日 2月9日Web開催 ・支部運営の情報交換 ・副支部長の参加（合同委員会時） 合同委員会中止 c 支部長の地域内会議への出席 ・会議内容の共有 理事会等での復命の実施 d 地域内の看護職ネットワーク構築 ・看護管理者会議、職能間の連携会議等 ・看護管理者懇談会の開催と支部長の出席 e 「教育委員会」の企画による研修会の開催 f 「まちの保健室」運営委員会の企画による「まちの保健室」の開催 庄内支部：展示として実施 g 日本看護協会通常総会への一般参加者派遣 縮小・Web開催 派遣なし ・参加報告の共有
(2) 会員意識の高揚と会員拡大 ①会員拡大への働きかけ ②看護学生への働きかけ ③新会員情報管理システム（ナースシップ）の運用	事務局 (①～③は同じ) a 新「会員情報管理体制」のスムーズな手続きへの誘導 b 施設未加入者への働きかけ（パンフレット・入会案内チラシの活用及び送付） c 事業案内パンフレット（日本看護協会より送付）・教育計画等の送付 d ホームページでの広報 a 看護教育機関への働きかけ（パンフレットの活用及び送付） b 職能団体活動の講話等（6校で実施予定） 1校実施 c 入学式、戴帽式（祝電） 入学式：全校中止 祝電5校 戴帽式：出席1校 祝電4校 d 卒業式等への出席 出席1校 祝電6校 a 日本看護協会との契約締結・維持 b 会員登録システム変更の周知 c ナースシップシステムによる会員管理 d 会員専用Webページ「キャリアナース」への登録推進 e 退会届の周知

<p>2) 組織の運営に関する事業</p> <p>(1) 組織運営の円滑化</p> <p>① 総会開催</p> <p>② 役員等の推薦</p>	<p>理事会・管理運営会議・選挙管理委員会・事務局</p> <p>a 総会運営規則に則った総会運営</p> <p>b 総会要綱作成 1500部</p> <p>c 選挙規則に則った役員改選</p> <p>推薦委員会</p> <p>a 改選役員等候補者の推薦 委員会を3回開催</p>
<p>(2) 組織運営に関する会議</p> <p>① 総会</p> <p>② 理事会</p> <p>③ 常務理事会</p> <p>④ 職能・常任・認定看護管理者教育課程教育運営・推薦委員会及び支部長会との合同委員会</p> <p>⑤ 各職能・常任・認定看護管理者教育運営委員会</p>	<p>理事会・管理運営会議・事務局 (①～④は同じ)</p> <p>a 年1回 6月19日(金) 通常総会開催(規模縮小)</p> <p>a 理事会 例年通り9回開催</p> <p>9回開催(うち書面開催3回 Web開催1回)</p> <p>a 常務理事会 1回開催 11月16日(月) 時短開催</p> <p>a 年2回(7月・1月) 7月・1月中止</p> <p>・活動計画と実施評価の徹底</p> <p>・活動状況の共有</p> <p>a 諮問審議事項の提示と活動支援</p> <p>理事会で審議後に諮問審議事項を提示</p>
<p>(3) 日本看護協会との連携</p> <p>① 日本看護協会通常総会・全国職能別集會</p> <p>② 日本看護協会理事会</p> <p>③ 法人会員会</p> <p>④ 都道府県看護協会職能委員長會</p> <p>⑤ 地区別法人会及び職能委員長會</p> <p>⑥ 訪問看護サミット</p> <p>⑦ 都道府県看護協会看護労働担当者會議</p> <p>⑧ 都道府県看護協会事務担当者會議</p> <p>⑨ 都道府県看護協会広報担当役員會議</p> <p>⑩ 都道府県ナースセンター事業 担当者會議</p> <p>⑪ 新会員情報管理体制(ナースシップ) 担当者會議</p> <p>⑫ 訪問看護連絡協議会全国會議</p> <p>⑬ 都道府県看護協会教育担当者會議</p> <p>⑭ 医療安全推進會議</p> <p>⑮ 都道府県看護協会災害看護担当者會議</p> <p>⑯ 都道府県看護協会政策責任者會議</p> <p>⑰ その他</p>	<p>管理運営会議・事務局 (①～⑰は同じ)</p> <p>a 年1回(6月11・12日) 代議員派遣 <福岡市> 中止</p> <p>b 各支部の一般参加への支援 中止</p> <p>a 年6回以上 会長出席 6回開催</p> <p>5月8日(Web) 6月11日(書面)</p> <p>7月30・31日(Web) 9月25日(Web)</p> <p>11月26・27日(Web) 2月25・26日(Web)</p> <p>a 年1回以上 会長出席 6回開催(理事会と同日)</p> <p>a 年1回 全国職能委員長會</p> <p>第1回: 7月15日中止(資料Web配信)</p> <p>第2回: 3月10日(Web) 看I・看II委員長出席</p> <p>3月11日(Web) 保・助委員長出席</p> <p>a 年1回 10月8・9日(福島県看護協会担当)</p> <p>地区別法人会: 会長・常任理事出席</p> <p>職能委員長會: Web會議4名出席</p> <p>a 12月19日(土) Web配信</p> <p>a 11月25日Web會議 常任理事1名・ナースセンター課長・係長出席</p> <p>a 10月28日Web會議</p> <p>常任理事1名・事務局長・総務課係長・ST事務担当出席</p> <p>a 1月15日Web會議</p> <p>常任理事1名・事業課長・ナースセンター課長・総務課長補佐出席</p> <p>a 中止</p> <p>a 9月10日Web會議 常任理事1名・総務課長補佐出席</p> <p>a 11月19日Web會議 会長・常任理事1名出席</p> <p>a 中止</p> <p>a 3月3日Web會議 常任理事1名出席</p> <p>a 11月11日Web會議 常任理事1名・オブザーバー2名出席</p> <p>a 12月14日Web會議 全区理事1名出席</p> <p>・北海道・東北地区看護協会長連絡協議會 中止</p> <p>・認定看護管理者教育機関担当者會議</p> <p>9月17日Web會議 研修課長出席</p> <p>・2020年度日本看護学会學術集會開催(11月5・6日:山形テルサ)</p> <p>Web開催へ変更 11月1日～30日配信(4開催地7領域同時配信)</p> <p>・災害支援ナース派遣調整合同訓練 12月8～10日参加(再掲)</p> <p>・都道府県ナースセンターキャリアコンサルティング研修</p> <p>1月27日(Web)職員4名参加</p> <p>・北海道・東北地区社労士の職業紹介事業(労働条件)に関する研修</p> <p>12月8日(Web) 職員4名参加</p> <p>・NursingNow記念イベント及び分科會</p> <p>1月21日Web開催 全職員参加</p> <p>・都道府県看護協会図書室担当者研修 1月29日(Web)1名参加</p> <p>・看護基礎教育役員會議 2月10日Web會議 常任理事1名出席</p> <p>・都道府県看護協会政策責任者會議</p> <p>2月25日Web會議 会長・常任理事1名出席</p> <p>・病院看護管理者懇談會(2月17日)</p>
<p>(4) 他団体との連携</p>	<p>管理運営会議・事務局</p>
<p>3) 広報活動に関する事業【重点・7】</p> <p>(1) 県民、看護職及び会員への情報提供の充実</p> <p>① ホームページによる情報提供</p> <p>② 広報誌「山形いぶき」の編集と発行</p>	<p>広報委員会、事務局 (①～④は同じ)</p> <p>a 看護関連情報及び看護協会の事業計画・活動状況の更新</p> <p>a 年4回発行(5月号7,700部 7・11・1月号8,600部)</p> <p>b マスコミ関係、公立図書館等への送付</p>

<p>③行政、関係団体と連携した広報活動</p> <p>④日本看護協会ニュースの活用</p>	<p>a 記者クラブへの投げ込み、ニュースリリースの発行</p> <p>b 県長寿社会政策課への介護福祉関係施設に対する情報発信の</p> <p>c 山形県老人保健施設協会、山形県老人福祉施設協議会との連携協力依頼</p> <p>a 日本看護協会より毎月15日発行</p> <p>b 日本看護協会へナースシップシステムでデータ変更</p>
<p>4) 会館管理・運営に関する事業</p> <p>(1) 会館管理・運営に関する事項</p> <p>①資金計画の円滑な運用</p> <p>②会館管理の運営</p> <p>③機器類の管理</p>	<p>事務局 (①～③は同じ)</p> <p>a 会館維持管理費の適正運用</p> <p>b 長期資金計画の見直し検討</p> <p>a 建物・駐車場の維持管理</p> <p>b 施設利用状況把握</p> <p>c 使用規程に関する検討</p> <p>a 機器及び諸設備の整備・保守 Webによる研修・委員会・会議のためのネットワーク環境整備 (無線Run accesspoint10台・カメラ8台・スピーカー8台・4 License)</p> <p>b 機器類の貸出</p>
<p>(2) 施設の整備・保守・管理</p> <p>①施設の維持管理</p> <p>②「訪問看護会館」の維持管理</p>	<p>総務課</p> <p>a 法定保守点検</p> <p>ア 電気設備 (毎月)</p> <p>イ 火災報知機 (年2回)</p> <p>ウ エレベーター (毎月)</p> <p>b 任意保守点検</p> <p>ア 空調機</p> <p>イ 自動ドア</p> <p>ウ AV機器</p> <p>c 業務委託関係</p> <p>ア 警備保障</p> <p>イ 緑地帯の維持管理</p> <p>ウ 館内外清掃</p> <p>エ 駐車場除雪 (冬季必要時)</p> <p>オ 会計管理 (消費税、法人税等の税務処理)</p> <p>訪問看護ステーションやまがた、在宅推進担当</p> <p>a 具体的な計画策定と実施</p>
<p>(3) 防災意識等の高揚</p> <p>①山形県看護協会での防災訓練等</p>	<p>事務局</p> <p>a AEDを含む訓練実施 (年1回)</p>
<p>(4) 関係団体との連携</p> <p>①アルカディアソフトパーク山形クラブとの連携</p>	<p>事務局</p> <p>a アルカディアソフトパーク内の一斉清掃、樹木の消毒、清掃年2回、消毒年1回 清掃1回、消毒1回 実施 その他親睦会等開催 中止</p>
<p>5) 渉外活動に関する事業</p> <p>(1) 看護についての諸問題の解決</p> <p>①国・山形県等への陳情</p> <p>②山形県看護連盟との連携</p>	<p>理事会・管理運営会議・事務局 (①～②は同じ)</p> <p>a 政策、要望等の陳情 (看護関係予算、看護教育、継続教育の充実、看護職員の増員、看護制度等)</p> <p>a 合同会議の検討</p> <p>b 合同研修会の企画と実施 2回開催 11月21・22日 北海道東北ブロック看護管理者看護教育者政策セミナー 会長、山川常任理事、若月常任理事 参加</p>
<p>(2) 関係機関との協力と連携</p> <p>①関係機関・団体への参画</p> <p>②行政への働きかけ</p>	<p>理事会・管理運営会議・事務局 (①～②は同じ)</p> <p>a 関係機関・団体等との連携、参加、名義後援</p> <p>b 山形県健康福祉部との業務推進懇談会(再掲)</p> <p>c 山形県四師会との連携</p> <p>d 諸会議への参加</p> <p>e 諸施策審議会への参加</p> <p>a 要望書の提出 2回提出 5月19日 山形県看護連盟と共に山形県知事へ要望書提出 新型コロナウイルスに係る「危険手当及び宿泊費の助成について」 新型コロナウイルスに係る「看護職員の休業に伴う代替職員の確保について」 9月15日 県へ要望書提出 新型コロナウイルスに係る「訪問看護ステーションの経営基盤の安定化について」</p>
<p>6) 会員の相互扶助に関する事項</p> <p>(1) 会員の福利厚生への推進</p> <p>①会員の福利厚生へのPR</p>	<p>理事会・管理運営会議・事務局</p> <p>a 表彰候補者の推薦並びに表彰</p> <p>ア 日本看護協会長表彰候補者推薦のための調査と推薦</p> <p>イ 山形県看護協会看護功労者表彰及び感謝状贈呈候補者推薦</p> <p>b 規定による会員への見舞い</p> <p>ア 災害見舞、慶弔見舞 弔意：旧会員4名</p> <p>c 家庭常備薬の斡旋</p>